



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 S Iホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7070 URL https://www.si-hd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 宮後 資正 TEL 03 (6910) 3870
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|----------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 6,811 | 12.8 | 523 | 44.8 | 486 | 55.7 | 275 | 9.5 |
| 2020年3月期第3四半期 | 6,039 | — | 361 | — | 312 | — | 251 | — |

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 321百万円 (28.9%) 2020年3月期第3四半期 249百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 25.17 | — |
| 2020年3月期第3四半期 | 22.97 | 22.96 |

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 6,252 | 2,090 | 33.4 |
| 2020年3月期 | 4,814 | 1,826 | 37.9 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,090百万円 2020年3月期 1,826百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | — | — | 1.00 | 1.00 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2021年3月期 (予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において中間期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定とさせていただきます。

当社は、2019年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前第2四半期まで実績はありません。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。

連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期3Q | 11,330,000株 | 2020年3月期 | 11,330,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期3Q | 379,268株 | 2020年3月期 | 379,368株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期3Q | 10,950,678株 | 2020年3月期3Q | 10,950,632株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において、判断したものであります。また、第1期第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社やまねメディカルの四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日の9ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行が一向に沈静化する気配が見えない中で、各種の企業の業績の悪化など、厳しい状況が続いています。

この間、国内では経済の活性化を目指してGo to トラベルやGo to イートキャンペーン等の景気振興策が取られましたが、これらの施策も新型コロナウイルス感染症の患者数の増加により一時中断を予断を余儀なくされるなど、経済活動が制限される状況が続いており、従前の経済活動に戻るまでにはかなりの期間が必要とされることが予想され、経済の先行への不透明感が強まっています。

このような経済状況のもと、当社グループは、徹底した感染症防止対策を継続的に実施し、ご利用者様や従業員等の健康と安全確保を最優先に取り組みと共に、効率的なケアセンター施設の運用や、経費削減の徹底を図ることにより、業績への影響を最小限に止める努力を行って参りました。

その上で、「社会的価値と経済的価値の統合による企業価値の最大化」と「価値創造の永続的連鎖」の実現を当社グループの企業理念に掲げ、「豊かな超高齢社会創造計画」(「シニア輝く社会」)推進プロジェクトとして、①高齢者住宅整備プロジェクト、②高齢者向け生活支援サービス整備プロジェクト、③経営支援サービス推進プロジェクト、の3つのプロジェクトを推進して参りました。

当四半期におけるケアセンター事業は、一部クラスターの発生など新型コロナウイルス感染症の影響による利用者及び利用回数等の減少が顕在化した上に、新型コロナウイルス対策として諸種の経費が全センターにおいて増大しました。一方で、感染症対策や営業活動等に注力した結果、ご利用者様数は、前年同四半期に比べ増加して、前年同四半期に比べ増収増益となりました。

また、フードサービス事業を含むその他事業においても、新型コロナウイルス感染症による影響はありましたが、多様な新規事業への取組みにより、業容の拡大を図ると共に、営業活動等を着実に進めた結果、前年同四半期に比べ増収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は6,811,350千円、営業利益は、523,927千円、経常利益は、486,379千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、275,631千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,447,533千円となり、前連結会計年度末に比べ1,501,278千円増加いたしました。これは主に借入に伴う現金及び預金の増加によるものであります。固定資産は2,802,480千円となり、前連結会計年度末に比べ62,689千円減少いたしました。これは主に有形固定資産の減少及び税効果会計処理に伴う繰延税金資産の減少によるものであります。この結果、資産合計は6,252,699千円(前連結会計年度末比1,438,110千円増)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,059,645千円となり、前連結会計年度末に比べて372,517千円増加いたしました。これは主に未払法人税等及び仮受金等の増加によるものであります。固定負債は3,102,104千円となり、前連結会計年度末に比べて801,546千円増加いたしました。これは主に長期借入金金の増加によるものであります。この結果、負債合計は4,161,749千円(前連結会計年度末比1,174,063千円増)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,090,958千円となり、前連結会計年度末に比べ264,778千円増加いたしました。これは主に当第3四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益275,631千円を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は33.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症は、ワクチンが一部承認され、その接種も開始されたとはいえ、いまだ収束の兆しは見えず、経済活動に大きな影響を与えています。

このような中で当社グループと致しましては、引き続きご利用者様と従業員等の健康と安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症防止への取組を更に徹底した上で、「豊かな超高齢社会創造計画」の推進に力を尽くしていく所存です。

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中では、事業環境の見通しは不透明であり、現時点でその影響額を適正かつ合理的に算定することは困難であるため、未定としています。

2021年3月期の通期の連結業績予想は、今後、合理的な業績の予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 524,659 | 1,833,468 |
| 営業未収入金 | 1,285,233 | 1,412,586 |
| その他 | 161,751 | 241,295 |
| 貸倒引当金 | △25,388 | △39,816 |
| 流動資産合計 | 1,946,255 | 3,447,533 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| リース資産(純額) | 2,075,255 | 2,046,641 |
| その他(純額) | 123,173 | 122,523 |
| 有形固定資産合計 | 2,198,428 | 2,169,164 |
| 無形固定資産 | 7,143 | 8,462 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 608,379 | 605,798 |
| 繰延税金資産 | 46,612 | 15,003 |
| その他 | 4,607 | 4,050 |
| 投資その他の資産合計 | 659,598 | 624,852 |
| 固定資産合計 | 2,865,169 | 2,802,480 |
| 繰延資産 | 3,165 | 2,685 |
| 資産合計 | 4,814,589 | 6,252,699 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 134,352 | 179,749 |
| リース債務 | 83,687 | 92,021 |
| 未払金 | 349,679 | 405,224 |
| 未払法人税等 | 21,830 | 146,833 |
| 預り金 | 54,327 | 87,494 |
| その他 | 43,253 | 148,321 |
| 流動負債合計 | 687,128 | 1,059,645 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | - | 815,000 |
| リース債務 | 2,113,821 | 2,093,583 |
| 退職給付に係る負債 | 3,961 | 4,270 |
| 資産除去債務 | 25,950 | 26,235 |
| 長期預り敷金 | 156,826 | 163,013 |
| 固定負債合計 | 2,300,558 | 3,102,104 |
| 負債合計 | 2,987,686 | 4,161,749 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 501,788 | 501,782 |
| 利益剰余金 | 1,390,934 | 1,655,673 |
| 自己株式 | △166,543 | △166,498 |
| 株主資本合計 | 1,826,180 | 2,090,958 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 退職給付に係る調整累計額 | 307 | △7 |
| その他の包括利益累計額合計 | 307 | △7 |
| 新株予約権 | 415 | - |
| 純資産合計 | 1,826,902 | 2,090,950 |
| 負債純資産合計 | 4,814,589 | 6,252,699 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 営業収入 | 6,039,809 | 6,811,350 |
| 営業原価 | 4,966,928 | 5,462,437 |
| 営業総利益 | 1,072,882 | 1,348,913 |
| 販売費及び一般管理費 | 711,030 | 824,985 |
| 営業利益 | 361,852 | 523,927 |
| 営業外収益 | | |
| 助成金収入 | - | 10,700 |
| 受取利息及び配当金 | - | 4 |
| 受取手数料 | 16 | 353 |
| 雑収入 | 4,077 | 12,999 |
| 営業外収益合計 | 4,093 | 24,058 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 52,537 | 49,593 |
| 雑損失 | 476 | 12,013 |
| 営業外費用合計 | 53,013 | 61,606 |
| 経常利益 | 312,932 | 486,379 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 609 | - |
| 新株予約権戻入益 | 1,197 | 402 |
| その他 | 23 | - |
| 特別利益合計 | 1,830 | 402 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 316 |
| 特別損失合計 | - | 316 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 314,762 | 486,465 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 22,349 | 179,226 |
| 法人税等調整額 | 40,930 | 31,607 |
| 法人税等合計 | 63,279 | 210,834 |
| 四半期純利益 | 251,483 | 275,631 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 251,483 | 275,631 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 251,483 | 275,631 |
| その他の包括利益 | | |
| 退職給付に係る調整額 | △2,006 | △314 |
| その他の包括利益合計 | △2,006 | △314 |
| 四半期包括利益 | 249,477 | 275,316 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 249,477 | 275,316 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2.3) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注4) |
|---------------------------|--------------|---------------|-----------|-------------|-----------|---------------|-------------------------------|
| | ケアセンター 事業 | フードサービ ス事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 5,318,738 | 684,962 | 6,003,700 | 36,109 | 6,039,809 | - | 6,039,809 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | - | 360,122 | 360,122 | 89,351 | 449,473 | △449,473 | - |
| 計 | 5,318,738 | 1,045,084 | 6,363,822 | 125,460 | 6,489,282 | △449,473 | 6,039,809 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 329,473 | 58,778 | 388,251 | △27,587 | 360,664 | 1,188 | 361,852 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、介護用品事業、健康食品事業、人材紹介・人材派遣事業等を含んでおります。
2. 売上高の調整額は、内部の売上高であります。
3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各セグメントに配分していない全社収益10,950千円及び全社費用△10,556千円、その他調整額794千円が含まれております。
全社収益は、各グループ会社からの経営指導料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営にかかる費用であります。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2.3) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注4) |
|---------------------------|--------------|---------------|-----------|-------------|-----------|---------------|-------------------------------|
| | ケアセンター 事業 | フードサービ ス事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 5,793,352 | 974,578 | 6,767,930 | 43,420 | 6,811,350 | - | 6,811,350 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | - | 442,967 | 442,967 | 185,123 | 628,090 | △628,090 | - |
| 計 | 5,793,352 | 1,417,545 | 7,210,897 | 228,543 | 7,439,440 | △628,090 | 6,811,350 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 514,930 | 98,672 | 613,602 | △85,100 | 528,502 | △4,575 | 523,927 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、介護用品事業、健康食品事業、人材紹介・人材派遣事業等を含んでおります。
2. 売上高の調整額は、内部の売上高であります。
3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各セグメントに配分していない全社収益37,080千円及び全社費用△42,600千円、その他調整額945千円が含まれております。
全社収益は、各グループ会社からの経営指導料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営にかかる費用であります。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「フードサービス事業」の量的な重要性が増したことを機に、前連結会計年度よりグループの経営管理区分を見直し、従来の「その他」を「フードサービス事業」「その他」に区分しました。その結果、報告セグメントを「ケアセンター事業」「フードサービス事業」としております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分及びセグメント利益に基づき作成した情報を記載しております。